

精神医療の将来像と具体的方策（これまでの議論の整理）

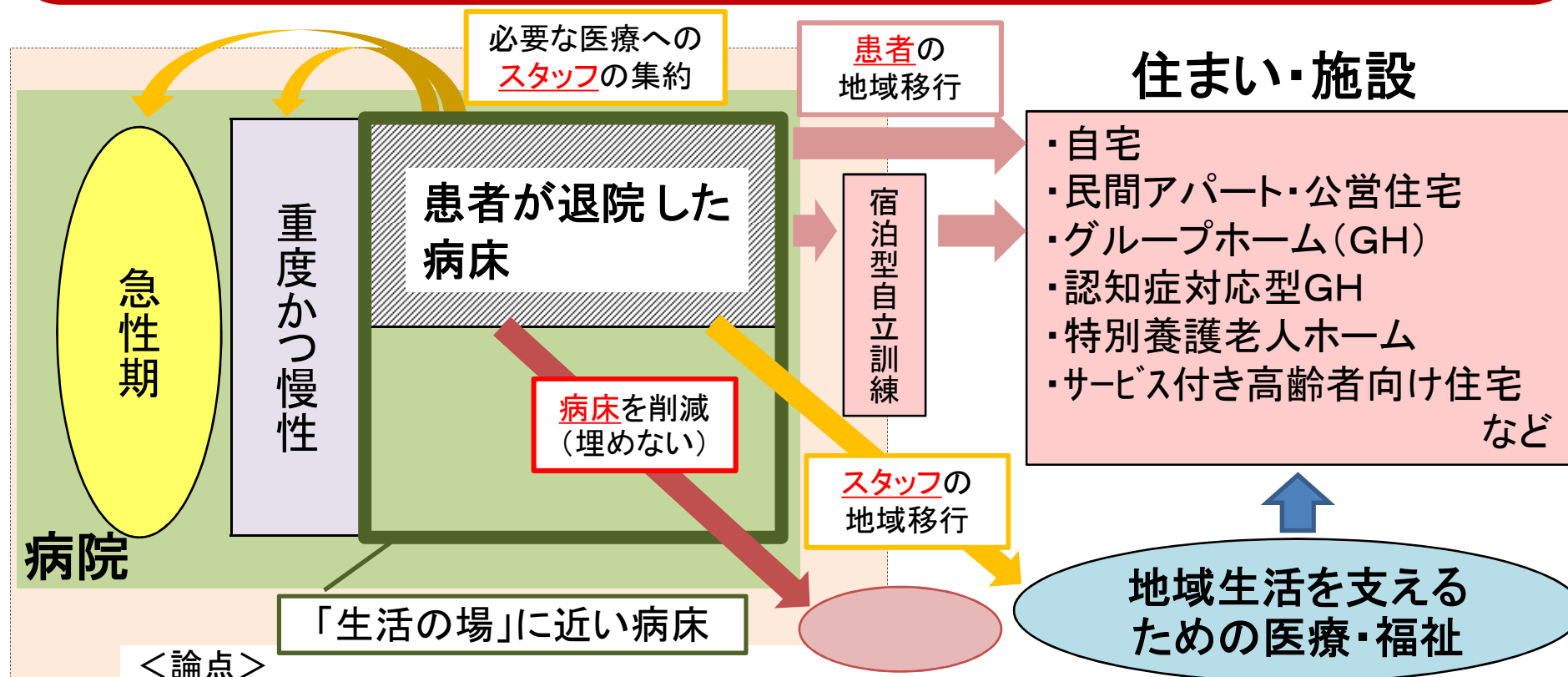
第3回長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会作業チーム	
平成26年5月20日（火）	資料4

＜将来像＞

- ◇ 長期入院者の地域移行を進めることにより、精神病床を適正化し、不必要となる病床を削減。
- ◇ 併せて、その資源を急性期病床や地域医療等、必要な医療に集約することにより、良質かつ適切な医療の体制を実現。

＜将来像実現のために必要な具体的方策＞

- ① 本人に対する支援（ア－1、ア－2、イ）
- ② 病院が病床削減できるための財政的な方策等



長期入院精神障害者の地域移行の流れ（イメージ）

第2回 長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会

平成26年5月12日（月）

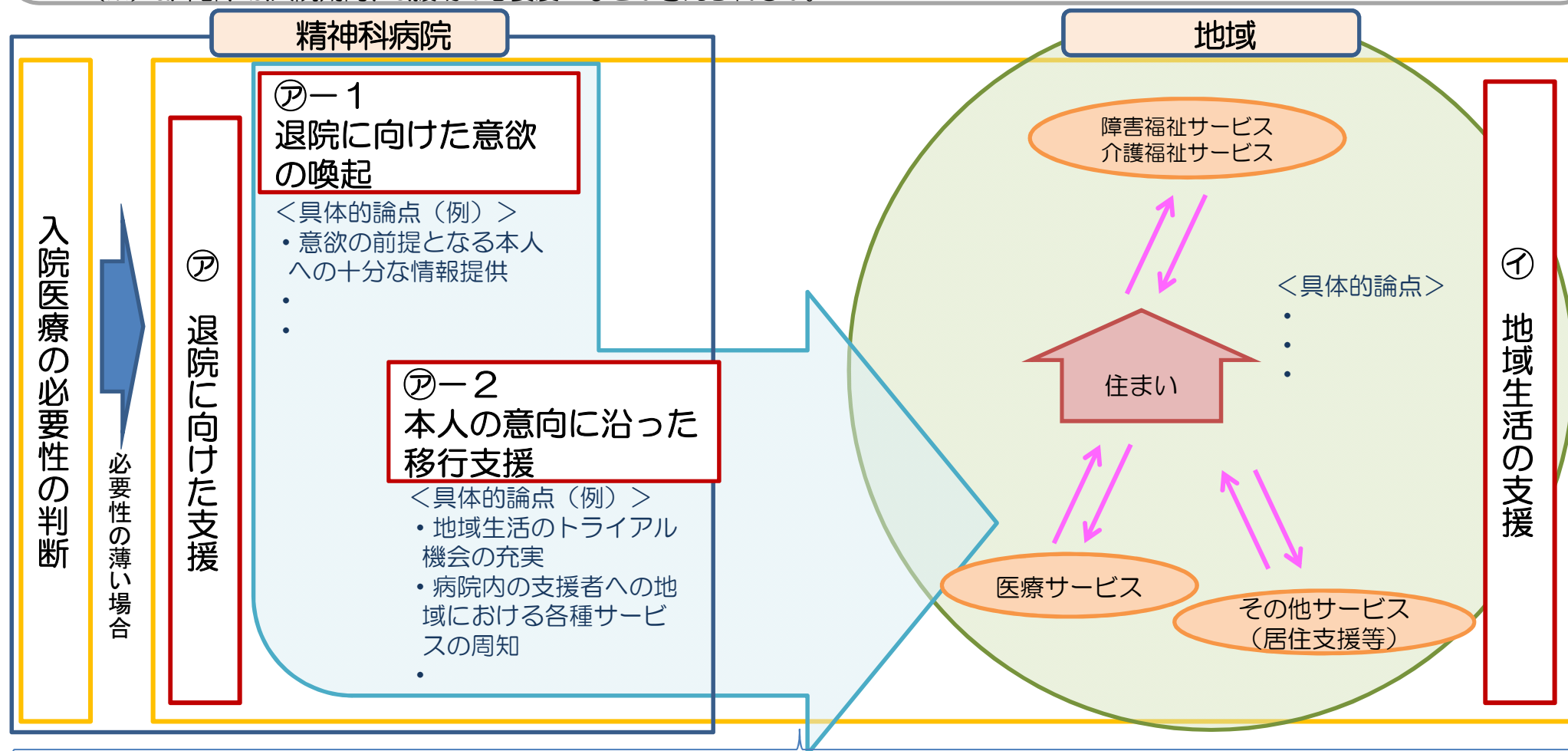
資料5-1

＜検討の基本的考え方＞

- ①長期入院患者本人の意向を最大限尊重しながら検討する。
- ②地域生活に直接移行することが最も重要な視点であるが、新たな選択肢も含め、地域移行を一層推進するための取組を幅広い観点から検討する。

○長期入院患者の属性（※）に応じて対策を検討する必要があるか。

（※）a.年齢、b.入院期間、c.援助の必要度 などが考えられるか。



地域移行を阻害する構造の見直し